

地方公共団体名	北海道 斜里町
所属部局 担当者名	総務部 環境課 生活環境係 担当：係長 塩 幸也（しお こうや）
地域の抱える 課題	<p>【環境・脱炭素に関する課題】</p> <p>本町は世界遺産「知床」を有する町であり、農業とそれに付随する製造業や漁業、観光業を基幹産業とします。</p> <p>人口や施設が多く、製造業も立地する「市街地」耕作地が広がる「農村部」そして「世界自然遺産地域知床」があり観光業や漁業が盛んな「ウトロ地区」など地域性が異なるとともに、それぞれ地域で異なる課題があります。</p> <p>そうした課題解決と脱炭素の同時実現を目指して、2050年の本町の姿をまとめた「斜里町再生可能エネルギー導入戦略」を令和4年度策定し施策を進めているところです。</p> <p>・主な産業・地域の課題</p> <p>【ウトロ地域・観光業】</p> <p>知床国立公園のゼロカーボンパーク登録を検討し進めている所ですが、再エネ設備導入に当たっては、知床の生態系、動植物への影響懸念もあることから、大きな開発を伴うものや景観に大きな影響を及ぼす大規模導入は難しい状況である。「既存施設を活用することで、景観や生態系の保全と再エネ設備を導入の両立」や、「生態系への影響を抑制できる次世代型再エネ設備等の研究・実証・導入」が期待されます。</p>

	<p>【市街地・産業・農村部】</p> <p>製造業から排出される CO2 排出量が一定の割合を占めているが、現行取組可能な対策は各工場とも行っており、「長期視点で大規模なエネルギー転換等が期待」されています。また、FIT 制度終了後の太陽光発電施設運用の受け皿が必要である他、公共施設の再エネ設備導入にあたり、PPA 事業者や「地域新電力など地域でエネルギー関連事業を担うことができる主体の育成などが期待」されています。</p> <p>【同時解決したい地域の課題】</p> <p>自然環境と再エネの両立を実現することで、産業の活性化、環境分野の担い手の確保、環境教育の場の役目を果たしていく必要がある。</p>
地域のありたい未来	みどりと人間の調和
事業の概要	<p>景観・生態系に最大限配慮した、施設等における自家消費型再エネ設備導入（ウトロ地域等）</p> <p>ゼロカーボンパークを意識した各種事業</p>
企業に求めたい内容	<p>課題解決、事業実施のため、専門的知識の提供</p> <p>各地域の特性を踏まえた、再エネ設備の専門的知識の提供、取り組みに対する賛同及び支援</p> <p>各種取り組みに対する、連携、賛同及び支援</p>